



美術館、親子で気軽に

八学短大生が鑑賞サポーター

八戸学院大短期大学部幼 市美術館を訪れた家族をサ
見保育学科の学生が、八戸 ポートする事業「ハッピー

ファミリーアワー」が23日、同館で行われた。学生5人が、託児サービスなどを通して親子の有意義な展示鑑賞をサポートした。

八戸学院地域連携研究センター主催で、市の委託事業「大学資産を活用したアートの学び事業」の一環。子連れでも気軽に来館しやすい環境づくりや、学生の学びの機会創出を目的に開催した。この日は同科の1年生5人が、開催中の展示に常駐。一時的に大人の手が足りない場面などでサポート役に回った。

館内で展示中の体験型アート「くじらぎの森3D」では、子どもたちに学生が鑑賞方法を説明するなどして交流。参加した浅沼姫夏さん(19)は「美術館には子どもも楽しめる仕組みがいろいろあるので、自分たちのサポートで、楽しいと思ってもらえたらうれしい」と話していた。(金濱千優希)

.....
来館した子どもたちと交流する学生